1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 3月 28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3490900341		
法人名	社会福祉法人 三誓会		
事業所名	あやめが丘グループホーム		
所在地	垃	二島県三原市惣定66番30 (電話)0848-86-1211	
自己評価作成日	令和3年3月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action kouhyou detail 022 kani=true&JigyosyoCd=3490900341-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会	
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29	
訪問調査日	令和3年3月18日	

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念に掲げた、「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」の気持ちを大切にしケアに取り組んでいます。家庭的な環境の中で無理なくゆったりとした時間が過ごせ、入居者と職員の関係がご家族様に少しでも近づき、笑いの絶えない生活が送れるよう支援しています。また、近隣の一般ボランティアや学校や子供園との交流も年々関わりが深まり、行事など事あるごとに参加して下さり子供園とは互いに行き来しながらふれあい交流の場を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍による自粛はあるが、最近の特徴的な取組みとして第一に「出会い」「馴染みの人や場との関係継続の支援」に深化が見られる。事業所では現在のコロナ禍による面会制限下の中、オンラインでの面会、相談室で感染対策のもと、10分の予約制面会を実施している。第二に「助け合い」「本人と共に過ごし支えあう関係」に深化が見られる。閉じこもりがちな生活の中、レクリエーションを午前から午後にも拡充し、道具作りから始める、或いは全身を使ったアイデア満載の「遊びリテーション」を工夫して「笑顔あふれる瞬間」の創出に努めている。第三に「ふれあい」「日常的な外出支援」に深化が見られる。隣接子ども園の子ども達との朝の挨拶や運動会・茶会・ハロウィン等、園内季節行事を通しての日常的な世代間交流を行っている。

白己	外部	項 目(さく	(6)	自己評価	外部	評価	
	₹17.TE	上記項目欄の()内	ヘユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
I 理	念に	基づく運営					
1	1	た事業所理念を	ービスの意義を踏まえ をつくり,管理者と職	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念を つけて共有し、実現に取り組んでいる。	業所内に掲示、又職員の名札裏面に明 記し実践上の立ち返るべき原点として 位置付けている。「あい」ある関係性 を対利用者のみならず職員間にも築く 事を理念とし、それに沿って各ユニッ トで年間目標を策定し、課題が生じた	開設から7年を迎え、理念の周知や実践につき、より深く取り組むことで更なる向上を期待したい。例えば、事業計画も踏まえて分り易い具体的な年間目標(事業所・職員)を設定し、定期的に達成度を評価して記録に残す案等、検証過程を「可視化」することで職員間の認識を共有化し理念の深化・定着に期待したい。	
2	2	し続けられる。	とつながりながら暮ら	事業所の行事等をお知らせし、ボラン ティアの慰問のお願いを行い、交流を 深めるよう努めている。	現在はコロナ禍により外出自粛中だが、本来は日頃から近隣へ買い物等で出かけたり、公民館の料理教室等、地域行事にも参加している。地域住民に事業所主催の夏祭り参加案内や歌等のボランティアの受入れ等、相互交流もある。又、隣接こども園との交流や近隣技術高校から福祉実習等、世代間交流も行っている。		
3		いる認知症の丿		民生委員さんを通じ地域の方々へ発信 していただいている。			
4	3	スの実際,評価 ついて報告や記	では, 利用者やサービ 面への取組み状況等に	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、 運営状況等を報告し、出席者との意見 交換を行っている。	最近の会議は8・10月開催分を除き コロナ禍により書面による事前照会だ が、本来は定期的に開催され、民生委 員・市担当課職員、時に家族他が参加 していた。会議では事業所の活動報 告・意見交換が行われ欠席家族には議 事録を送り情報共有している。意見交 換により認定調査に関し市から支援を 得た例がある。		
5	4	り,事業所の第 取組みを積極的		運営推進会議に参加していただき、施 設の状況を把握していただいている。	コロナ禍前は市担当課職員が運営推進 会議に参加、現在は会議資料を配布し て情報共有をしている。市担当者とは 日頃から相談や報告、行政主催の虐 待・集団指導等の研修会への参加を通 して協力関係の構築を図り、又地域包 括支援センター運営の認知症カフェや 地域ケア会議にも参加して地域連携を 図っている。		

自己	从实	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
	評価	上記項目欄の()内へユニット名	名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	5	着型サービ 着型介護予 る禁止の対 正しく理解	全ての職員が ス指定と なり なる なり なる しており 、玄	実践 「指定地域密密では、「指定地域密密では、である。」では、 「大きなでは、 「ないますが、 「ないまが、 「ないますが、 「ないまが、 「ないまが、これが、 「ないまが、 「ないまが、 「ないまが、これが、 「ないまが、これが、 「ないまが、これが、これが、 「ないまが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これ	声掛け見守りを十分に行っている。また研修会にも参加したり、施設内でも 勉強会に取り組んでいる。	研修会等を通して職員は「拘束をしない」必要性を認識し、具体的なケアの中で実践を重ねている。日中は玄関を施錠せず見守りをしたり、鈴の設置・見守りし易い居室への転室等の取り組みを行っている。運営推進会議の中で身体拘束廃止委員会の取り組みを毎回報告している。	
7		等について の自宅や事	員は,高齢 学ぶ機会を打 業所内での がないよう	者虐待防止法 時ち,利用者 虐待が見過ご 注意を払い,	施設外の研修参加、施設内での勉強会 により、職員間の理解を深めたり、意 見交換を行っている。		
8		事業や成年 会を持ち,	員は,日常 後見制度に 個々の必要 それらを活	世解と活用 生活自立支援 ついて学ぶ機 性を関係者と 用できるよう	成年後見人制度を利用されている利用 者がおられる為、スタッフには説明を 行い、勉強会も行っている。		
9		は,利用者	i,解約又はi や家族等の 分な説明を		入居時の契約時に、締結、解約、改定 等の説明を行い、不安や疑問を払拭す るよう努めている。		
10		者や職員並	族等が意見, びに外部者	族等意見の反 要望を管理 へ表せるせて に反映させて	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けている。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めている。 又、面会時にも要望をおたずねしている。	家族とは面会・介護計画更新時・運営 推進会議・意見箱等で意見を把握し申 し送りノート他で情報共有をしてい る。現在はコロナ禍の面会自粛で家族 と連絡をとり迅速な対応に努めてい る。三ヶ月毎に利用者毎の担当職員を 交代させ、多様な視点から送る面会時 りに家族から喜ばれている旨を面会時 に頂いた経緯がある。	

自己	ᆏᅺ	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット:	名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
11	7	代表者や領	や提案を聞く	営に関する職	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させている。	適宜の法人代表者会議、毎月の事業所 内フロア会議、毎日の申し送り、管理 者との随時の個別面談等で意見を聞く 機会を設け、介護方法・業務上の提案 やユニット目標の進捗状況等に対する 支援体制を採っている。職員提案で的感染対策で次亜塩素酸によって り感染対策で次亜塩素酸によずレット 端末導入の例がある。	
12		や実績, 準,労働 が向上心る	管理者や職 動務状況を把 寺間, やりが	いなど,各自 るよう職場環	代表者は管理者、スタッフ代表と会議 を行い、スタッフの意見等を踏まえ、 職場環境の整備に努めている。		
13		のケアの写 内外の研(管理者や職 実際と力量を 多を受ける機 うトレーニン	員一人ひとり 把握し,法人 会の確保や, グしていくこ	施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮している。施設内では2か月に1回勉強会をしている。		
14		代表者は, 交流する ^材 クづくり ³ 動を通じ ³	幾会をつくり や勉強会,相	員が同業者と , ネットワー 互訪問等の活 の質を向上さ	地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達している。		
Ⅱ 妄	心と信	言頼に向けた問	関係づくりと支	援			
15		サービスの 本人が困っ と, 要望	雀保するため	する段階で,	入居前の施設見学の際、管理者や職員 が話を傾聴しながら、関係を築いてい る。		

白己	外部	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名	を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
16		サービス <i>0</i> 家族等が困 と, 要望等	家族等との信頼 の利用を開始すること 対っていること 等に耳を傾けた そめている。	ける段階で, こ、不安なこ	入居前に見学していただき、家族の不 安、要望の把握し信頼関係が保たれる よう努めている。		
17		サービスの 本人と家族 としている)見極めと支援 ○利用を開始す 実等が「その時 公支援を見極め 公含めた対応に	ける段階で, 寺」まず必要 り, 他のサー	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要 とされる支援に対応するよう努めてい る。		
18		職員は, 本 場に置かす	過ごし支えあう な人を介護され げ,暮らしをも と築いている。	いる一方の立 はにする者同	入居者の体調を考慮し、家事や作品作 りに協力していただき、入居者、職員 とも良い関係が築けるよう努めてい る。		
19		職員は, 家 場に置かす	支えあう家族と 家族を支援され が,本人と家が ら,共に本人を いている。	ιる一方の立 埃の絆を大切	年2回の衣替え、消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、外出・外泊の支援もさせていただいている。		
20	8	本人がこれみの人や場	、や場との関係 いまで大切にし 易所との関係が 爰に努めている	してきた馴染 ぶ途切れない	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っている。	「気軽に訪問できる事業所作り」「地域との絆」を大事にし、馴染みの美容院・実家での法事・結婚式参列等を通して馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。現在はコロナ禍による面会制限下、オンラインでの面会、相談室で感染対策のもと、10分の予約制面会を実施した例がある。	

白口	外部	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項日懶の()内へユニット名を記入願います 	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。作品を作ったり、レクを行い、楽しい時間を過ごして頂いている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了して も、これまでの関係性を大切にしな がら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努め ている。	サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えている。		
ш ғ	の人と	らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望, 意向の把握に努めている。困難 な場合は, 本人本位に検討してい る。	入居者本人の要望、意向を家族と共に 定期的に話をし、支援の方法等を引き 出していく。それを基にケアプランの 見直しも検討している。	利用者毎に担当を決め、利用者の習慣 や好み等の基本情報を基にその後はそ の方に深く関わりを持つことで思いを 汲み取り、申し送りノートで共有をし ている。三カ月毎に担当職員を交代さ せ、多様な視点でその方の生活を捉え て、全職員で情報を共有し、「当たり 前の生活作り」に向けた立案に努めて いる。	
24		Oこれまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方,生活環境,これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴 やなじみの暮らし方など、本人との会 話などから聞き出し、把握に努めてい る。		
25		○暮らしの現状の把握一人ひとりの一日の過ごし方,心身状態,有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で心身の状態や身体機能 の現状を把握するよう努めている。本 人様のペースに合わせた生活を送って 頂いている。		

自己	从部	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名	るを記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	10	ケアのあり 族, 必要な ぞれの意見) 良く暮らすが) 方について, よ関係者と話	ための課題と 本人,家 し合い,それ を反映し,現	ミーティングや関係者への相談、家族から聞き取りながら、ケアマネを中心に担当スタッフと一緒にケアプランの作成を行っている。	利用者毎の担当職員の収集情報を基に 計画作成担当者が立案し、適宜担当者 会議で検討して面会時等に家族の同意 を得て本まとしている。半年を基本に 担当職員・各ユニットでモニタリン が、作成担当者が計画を見直してい る。又、協力医・薬剤師、訪問看護 の来訪時の医療連携情報も立案に繋げ る様努めている。	
27		づきや工夫 員間で情報	² やケアの実置	浅・結果, 気 こ記入し, 職 がら実践や介	個別記録内容を充実させたり、申し送 りノートを活用し、スタッフ間での情 報交換を行っている。		
28		能化 本人や家族 れるニース ビスに捉え	を支えるための 疾の状況, その ぐに対応して, っれない, 柔い つ多機能化に の の の の の が の が に対応して, の の の れない, 柔い の の の の の の の の の の の の の	既存のサー 飲な支援や	本人や家族の要望の変更や追加に対応 して、希望に近づけるよう、支援や サービスに取り組んでいる。		
29		域資源を担 発揮しなか	の暮らしをき	が心身の力を かな暮らしを	ボランティアの受け入れや、地域の方 の見学などに対応している。		
30	11	切にし, 糸 医と事業所		等の希望を大 たかかりつけ きながら,適	かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。 家族付き添いの受診時には、主治医宛 に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。	利用前の主治医の受診継続も可能だが、殆どの利用者は協力医を主治医としている。内科協力医际隔週毎のの会認の方面を協力を協力を協力を協力を協力を表している。専門医のではないでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	

自己	从业	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニ	ット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		らえた情報 護職員や訪 し,個々の	は,日常の 級や気づき 訪問看護師 O利用者か	の関わりの中でと を、職場内の看 所等に伝えて相談 適切な受診や看 に支援してい	日頃から状態観察を行って、気付いた 事は報告する体制をとり、異変時は往 診か受診の判断をお願いしている。ま た24時間体制で連絡がとれるよう、緊 急時の対応をしている。		
32		できるようなに退院できるようなに退院では、そう	一院しまた。 にいままれる。 にきやはままれる。 でもした場合。	との協働 院、安心して治療 に、できるだけ早者 に、病院関係る。 後に努めてて病院関 合に備えている。	職員とソーシャルワーカーが連携をとりながら、介護サマリー、看護サマリーによる情報交換を行って、安全な生活が提供できるよう努めている。		
33		支援 重度化した ついて, 早 と話し合い ことを十分	:場合や終 型い段階かいを行い, 分に説明し 成の関係者	けた方針の共有と 冬末期のあり方に いら本人・家族等 事業所できるよ よながら方針を共 さと共にチームで いる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めている。	要望があれば看取りを行なう方針である。契約時に「看取りについての事前確認書」「重度化した場合の対応指針」で説明・了解を得ている。重度化した際には家族・医師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。まだ看取り事例はないが、医師の指示により医療機関へ移行するケースが多い。	
34		て,全ての	急変や事故)職員は応 と定期的に	備え 女発生時に備え 気急手当や初期対 こ行い,実践力を	AED研修や救急マニュアルを活用して、 十分ではないが、実践力を身につけて いる。随時、施設内では勉強会の開催 に努めている。		
35	13	夜を問わす を全職員か	[*] 利用者か [*] 身につけ	等の災害時に,昼 ぶ避難できる方法 けるとともに,地 きいている。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・ 地震の場合の避難場所を決めている。 地震・津波・水害時の訓練の実施や避 難経路マップを作成している。	消防署指導の下、年1回は夜間想定、 利用者参加を含め、もう1回は隣接の 子ども園と合同で避難訓練を実施して いる。ハザードマップでは非該当地域 だが、各種の災害毎の避難経路・避難 場所等を選定し、訓練を実施してい る。先の豪雨災害時には民生委員から 安否確認もあり、又、減災対策の備蓄 整備に努めている。	

自己	从部	項 目(さくら)	自己評価	外部評価		
評価	並 価	上記項目欄の()内へユニット?	名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
IV 3	の人と	らしい暮らしを終	売けるための「	日々の支援				
36		確保 一人ひとり	の人格を尊	ごライバシーの 重し,誇りや い言葉かけや	職員は、施設内・施設外の研修、勉強 会などを受け、一人ひとり思いやりを 持った声掛けを行っている。	研修で職員の幅広い知識の習得と資質 向上を図る体制をとっている。尊厳に 配慮してケアに関わり、利用者へ気気 主ないたでではな対応には指導や気気 きを促すが、職員間で話しやずり きを促すが、気づきはその場で即注意している。又、カルテ背表紙の利用者名 もローマ字表記する等、個人情報に配 慮している。		
37		日常生活の)中で本人が 自己決定で	自己決定の支援 思いや希望を きるように働	日常会話の中から希望を聞き出した り、日常生活の中で、働きかけたり、 雰囲気作りに努めている。			
		〇日々のその	人らしい暮ら	L				
38		ではなく, 切にし,そ	一人ひとり	を優先するの のペースを大 ように過ごし 支援してい	ケアの状況によって、職員側の都合を 優先する事もあるが、常に個人の想い を尊重し、無理のない生活を支援でき るよう心がけている。			
		○身だしなみ~	やおしゃれの	支援	定期的に訪問理髪・美容を依頼してい			
39			い身だしな うに支援し	みやおしゃれ ている。	を期的に訪问性後・美谷を依頼している。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援している。			
40	15	人ひとりの ら, 利用者	ンみなものに)好みや力を	なるよう, 一 活かしなが 緒に準備や食	月に1回は誕生日会やイベントを開き、 昼食をお楽しみメニューに変更したり している。おやつには、既製品だけで なく、手作りのおやつを作るよう配慮 している。	食事は外部業者から届いたレトルト食材を温め、職員の作るご飯と汁物を添えて提供している。事業所の畑で収穫した野菜が食卓に上ることもある。利用者は食卓拭き等、役割に応じた手伝いをしている。毎月の誕生日食や行事食は利用者の好みを反映させたり、移動パン屋や夏祭りの焼きそば作り等も行っている。		

白己	外部	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス,水分量が 一日を通じて確保できるよう,一人 ひとりの状態や力,習慣に応じた支 援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には、刻みやムース食へと随時変更し対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 □の中の汚れや臭いが生じないよ う,毎食後,一人ひとりの口腔状態 や本人の力に応じた口腔ケアをして いる。	毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを 実施している。必要に応じ、歯科医院 より歯科衛生師の口腔ケアをお願いし ている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄 パターンを把握するよう努め、トイレ の誘導を心がけている。	その方の排泄パターンを把握したトイレ誘導を基本としている。退院時の紙おむつから紙パンツへの移行例や前方支持テーブルを設置し、それに寄りかかり腹部に力を入れ自力で排便し易くする環境整備を行っている。また薬剤師からの排泄用品の助言例等、状態像に合わせた排泄の自立支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ 等,個々に応じた予防に取り組んで いる。	排泄状況の確認をし、便秘傾向の方に は、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相 談しながら、便秘予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。週2〜3回の入浴援助を行っている。入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいている。	週2回の午後浴が基本だが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、好みの湯温や時間等、柔軟に対応している。利やを負担を考慮し、シャ円名で対応することもある。据え合置き式家庭浴槽が浴室と中央にあり、八の同性介助を基本とした対応や冬至の柚子湯も行っている。	

白己	外部	項 目(さくら)	自己評価	外部評価		
	評価	上記項目欄の()内へユニット名	を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
46		状況に応じ	の支援 の生活習慣や じて,休息した こく眠れるよう	こり、安心し	日々の体調を把握しながら、一人ひと りの状況に応じて、安心して休息や臥 床が出来るよう配慮している。			
47		や副作用, しており,	が使用してい 用法や用量に 服薬の支援と らめている。	こついて理解	一人ひとり処方される薬の説明書は、ファイリングし、必要時は確認している。個々にあった服薬援助を行い、病状や副作用の観察を行っている。薬剤師の方と頻回に相談できる環境を整えている。			
48		るように, を活かした	みごとの支援 ○喜びのある E 一人ひとり Ø こ役割,嗜好品 云換等の支援を	D生活歴や力 品,楽しみご	張り合いや喜びを感じたり、気分転換が図れるように、各個人に合った役割を提供できるよう支援している。			
49	18	て, 戸外に 努めている ような場所 し, 家族や	出支援 のその日の希 に出かけられる に出かた、普段 でも、本人々と いれるようにす	るよう支援に となけない の希望を把握 と協力しなが	季節に合わせた行事を計画、実施したり、家族の協力を得て、ドライブに出掛けたり、状況を見て戸外へ散歩できるよう努めている。	現在はコロナ禍で外出自粛中だが、本 来は隣接こども園のこども達との日常 的な交流や買い物・バンブー公園の花 見・仏通寺の紅葉狩り・冬の神楽見物 等、季節の外出行事や公民館の料理教 室参加等、普段は行けないような場所 で「非日常」を楽しんだり、家族との 墓参り・米寿の祝い等、個別外出支援 も行っている。		
50		職員は,本 切さを理解 希望や力に	* や使うことの支 ぶ人がお金を持 なしており、一 に応じて、お金 こうに支援して	寺つことの大 一人ひとりの 仓を所持した	入居者全員、預り金があり、事務所で 管理している。本人の申し出があれば 使用できる。			

自己	从实	項 目(さくら)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名	を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		したり、手	の支援 の支援 のな人に本人自 に紙のやり取り としている。		ご本人が希望されれば、その都度対応 している。		
52	19	共用の空間 所, 企とつ 利激(で) がないよう	い共用空間づ 「(玄関, 所不 「公室」、 「本来」、 「本、 「本、 「本、 「本、 「、 「、 「、 「、 「、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、 し、	, 居間, 台 等) が, 利用 まねくような , 温度など) 活感や季節感	共有スペースは過ごしやすいように、 物の配置など工夫している。季節感や 生活感などを取り入れる事で、居心地 良く過ごせるようにしている。	季節の花や正月・七夕等、行事の飾り付けや利用者と作る壁掛け作品や掃き出し窓から見える霧や雪景色で季節の移ろいが感じられ、白色・暖色に調節可能な照明器具の導入等で居心地の良い生活空間となっている。又、今般の感染症対策で次亜塩素酸による空間除菌脱臭機も活用し、換気等にも万全を期している。	
53		づくり 共用空間の 気の合った	おける一人ひ。)中で,独りに 上利用者同士で こうな居場所の	こなれたり, ご思い思いに	共有空間は自由なスペースとして、利 用者の思いのまま過ごしていただいて いる。		
54	20	居室あるV や家族と相 ものや好み	過ごせる居室の いは泊まりのき 目談しながら, *のものを活か こく過ごせるよ	『屋は,本人 使い慣れた いして,本人	居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏や かな気持ちになれるような空間になっ ている。	居室にはエアコン等が備え付けられ、ベッド・タンス・仏壇等、使い慣れた物や鏡台・絵手紙・編み物等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。又、利用者によっては導線確保のため物品の配置換えや夜間排泄時のポータブルトイレを設置している。	
55		くり 建物内部は と」や「ね 安全かつて	の力を活かした は一人ひとり <i>の</i> っかること」を できるだけ自立 うに工夫してい	つ「できること活かして, Zした生活が	手すりの配置や、一人ひとりの居室の 環境の整備等にて、安全・自立に配慮 している。		

∇ アウ	ットカム項目(さくら)← 左記()内へユニット名を記入願います		
			①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	0	③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
			①毎日ある
		0	②数日に1回程度ある
57	利用者と職員が,一緒にゆったりと過ごす場面がある		③たまにある
			④ほとんどない
			①ほぼ全ての利用者が
50	利田老は、「カーリのペーラで夢ご」でいて	0	②利用者の3分の2くらいが
58	利用者は,一人ひとりのペースで暮らしている		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
59	111日本は、映号が大塚ナフラレで出る出土。 本情 ゆ次がならね マリンフ	Ο	②利用者の3分の2くらいが
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
60			②利用者の3分の2くらいが
00	村田有は、アクドへの1]さたいとこつへ山かり といる		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
		0	①ほぼ全ての利用者が
61	 利用者は,健康管理や医療面,安全面で不安なく過ごせている		②利用者の3分の2くらいが
01	利用省は、健康官権で医療曲、女主曲で行文ない過ごとでいる		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して	0	②利用者の3分の2くらいが
02	暮らせている		③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	①ほぼ全ての家族と
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いて	0	②家族の3分の2くらいと
00	おり, 信頼関係ができている		③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

			①ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来て		②数日に1回程度
04	いる		③たまに
		0	④ほとんどない
			①大いに増えている
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡が		②少しずつ増えている
00	りや深まりがあり,事業所の理解者や応援者が増えている		③あまり増えていない
			④全くいない
			①ほぼ全ての職員が
66			②職員の3分の2くらいが
00	職員は,活き活きと働けている	0	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
67	 職員から見て,利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	②利用者の3分の2くらいが
07			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての家族等が
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思		②家族等の3分の2くらいが
08	j		③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価	
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容	
ΙΞ	理念に基づく運営					
		〇理念の共有と実践				
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえ た事業所理念をつくり,管理者と職 員は,その理念を共有して実践につ なげている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し、実現に取り組んでいる。			
		○事業所と地域とのつきあい				
2	2	利用者が地域とつながりながら暮ら し続けられるよう、事業所自体が地 域の一員として日常的に交流してい る。	事業所の行事等をお知らせし、ボラン ティアの慰問のお願いを行い、交流を 深めるよう努めています。			
		〇事業所の力を活かした地域貢献				
3		事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	民生委員さんを通じ地域の方々へ発信 していただいている。			
		〇運営推進会議を活かした取組み				
4	3		2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、 運営状況等を報告し、出席者との意見 交換を行っている。			
		〇市町との連携				
5	4	市町担当者と日頃から連絡を密に取り,事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら,協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施 設の状況を把握していただいている。			
	<u> </u>	L	1			

自己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密 着型サービス指定基準及び指定地域密 着型介護予防サービス指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を 正しく理解しており、玄関の施錠を含 めて身体拘束をしないケアに取り組ん でいる。	声掛け見守りを十分に行っている。また研修会にも参加したり、施設内でも 勉強会に取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法 等について学ぶ機会を持ち、利用者 の自宅や事業所内での虐待が見過ご されることがないよう注意を払い、 防止に努めている。	施設外の研修参加、施設内での勉強会により、職員間の理解を深めたり、意見交換を行っています。		
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援 事業や成年後見制度について学ぶ機 会を持ち、個々の必要性を関係者と 話し合い、それらを活用できるよう 支援している。	成年後見人制度を利用されている利用 者がおられる為、スタッフには説明を 行い、勉強会も行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時の契約時に、締結、解約、改定 等の説明を行い、不安や疑問を払拭す るよう努めています。		
10	6	〇運営に関する利用者,家族等意見の反映 利用者や家族等が意見,要望を管理 者や職員並びに外部者へ表せる機会 を設け,それらを運営に反映させて いる。	運営推進会議に、ご家族代表の方に参加していただき、意見交換の場を設けています。利用者様には日々の会話から要望されている事を聞き取るよう努めています。 又、面会時にも要望をおたずねしている。		

白日	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇運営に関する職員意見の反映			
11	7	代表者や管理者は,運営に関する職 員の意見や提案を聞く機会を設け, 反映させている。	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案など話し合う機会を設け、個人面談を行い、運営に反映させている。		
		〇就業環境の整備			
12		代表者は、管理者や職員個々の努力 や実績、勤務状況を把握し、給与水 準、労働時間、やりがいなど、各自 が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている。	代表者は管理者、スタッフ代表と会議 を行い、スタッフの意見等を踏まえ、 職場環境の整備に努めています。		
		〇職員を育てる取組み			
13		代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内、施設外の研修に参加出来るよう配慮しています。施設内では2か月に1回勉強会をしています。		
		〇同業者との交流を通じた向上			
14		代表者は、管理者や職員が同業者と 交流する機会をつくり、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活 動を通じて、サービスの質を向上さ せていく取組みをしている。	地域で開催される研修会に参加し、多職種とのつながりを大切にし、他施設の方との意見交換や実践成功例を持ち帰りスタッフに伝達しています。		
Ⅱ 安	で心と信	- 言頼に向けた関係づくりと支援			
		〇初期に築く本人との信頼関係			
15		サービスの利用を開始する段階で, 本人が困っていること,不安なこと,要望等に耳を傾けながら,本人 の安心を確保するための関係づくり に努めている。	入居前の施設見学の際、管理者や職員 が話を傾聴しながら、関係を築いてい ます。		

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		○初期に築く家族等との信頼関係			
16		サービスの利用を開始する段階で、 家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている。	入居前に見学していただき、家族の不安、要望の把握し信頼関係が保たれるよう努めています。		
		〇初期対応の見極めと支援			
17		サービスの利用を開始する段階で,本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め,他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、ご家族の話をよく聞き、必要 とされる支援に対応するよう努めてい る。		
		〇本人と共に過ごし支えあう関係			
18		職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者の体調を考慮し、家事や作品作 りに協力していただき、入居者、職員 とも良い関係が築けるよう努めていま す。		
		〇本人を共に支えあう家族との関係			
19		場に置かず,本人と家族の絆を大切	年2回の衣替え、消耗品、物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、外出・外泊の支援もさせていただいている。		
		○馴染みの人や場との関係継続の支援			
20	8	本人がこれまで大切にしてきた馴染 みの人や場所との関係が途切れない よう,支援に努めている。	ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話等の取り次ぎも行っている。		

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し,一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い,支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、無理なく関わりながら、生活が出来るよう支援に努めている。作品を作ったり、レクを行い、楽しい時間を過ごして頂いています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了して も,これまでの関係性を大切にしな がら,必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし,相談や支援に努め ている。	サービス終了時に相談等対応出来る旨を伝えています。		
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望, 意向の把握に努めている。困難 な場合は, 本人本位に検討してい る。	入居者本人の要望、意向を家族と共に 定期的に話をし、支援の方法等を引き 出していく。それを基にケアプランの 見直しも検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方,生活環境,これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメント情報交換を行い、生活歴 やなじみの暮らし方など、本人との会 話などから聞き出し、把握に努めてい ます。		
25		○暮らしの現状の把握一人ひとりの一日の過ごし方,心身状態,有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活の中で心身の状態や身体機能 の現状を把握するよう努めている。本 人様のペースに合わせた生活を送って 頂いています。		

自己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
26	10	ケアのあり方について,本人,家 族,必要な関係者と話し合い,それ	ミーティングや関係者への相談、家族 から聞き取りながら、ケアマネを中心 に担当スタッフと一緒にケアプランの 作成を行っている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果,気 づきや工夫を個別記録に記入し,職 員間で情報を共有しながら実践や介 護計画の見直しに活かしている。	個別記録内容を充実させたり、申し送 りノートを活用し、スタッフ間での情 報交換を行っている。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人や家族の要望の変更や追加に対応 して、希望に近づけるよう、支援や サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	ボランティアの受け入れや、地域の方 の見学などに対応している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医の往診を受け入れ、転院の際には、紹介状の依頼をしている。 家族付き添いの受診時には、主治医宛に体調や状況を文章で伝え、適切な医療を受けられるよう配慮している。		

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日頃から状態観察を行って、気付いた 事は報告する体制をとり、異変時は往 診か受診の判断をお願いしています。 また24時間体制で連絡がとれるよう、 緊急時の対応をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際,安心して治療できるように,また,できるだけ早期に退院できるように,病院関係者との情報交換や相談に努めている。 又は,そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員とソーシャルワーカーが連携をとりながら、介護サマリー、看護サマリーによる情報交換を行って、安全な生活が提供できるよう努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と 支援 重度化した場合や終末期のあり方に ついて、早い段階から本人・家族等 と話し合いを行い、事業所でできる ことを十分に説明しながら方針を共 有し、地域の関係者と共にチームで 支援に取り組んでいる。	入居時に重度化した場合の受け入れ施設の申込みをしていただき、当施設でも終末期に向け、ご家族等と話し合いを行い、十分に説明しながら、ケアが提供できるよう努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え て,全ての職員は応急手当や初期対 応の訓練を定期的に行い,実践力を 身に付けている。	AED研修や救急マニュアルを活用して、 十分ではないが、実践力を身につけて いる。随時、施設内では勉強会の開催 に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震,水害等の災害時に,昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに,地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練の実施、火災・水害・ 地震の場合の避難場所を決めている。 地震・津波・水害時の訓練の実施や避 難経路マップを作成している。		

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価			
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容			
IV 3	その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
		〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの 確保						
36	14		職員は、施設内・施設外の研修、勉強会などを受け、一人ひとり思いやりを持った声掛けを行っています。					
		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援						
37		日常生活の中で本人が思いや希望を 表したり,自己決定できるように働 きかけている。	日常会話の中から希望を聞き出したり、日常生活の中で、働きかけたり、 雰囲気作りに努めている。					
		〇日々のその人らしい暮らし						
38		職員側の決まりや都合を優先するのではなく,一人ひとりのペースを大切にし,その日をどのように過ごしたいか,希望にそって支援している。	ケアの状況によって、職員側の都合を 優先する事もあるが、常に個人の想い を尊重し、無理のない生活を支援でき るよう心がけている。					
		○身だしなみやおしゃれの支援						
39		その人らしい身だしなみやおしゃれ ができるように支援している。	定期的に訪問理髪・美容を依頼しています。ご自分で洋服を選んでいただけるよう声掛けを行ったり、困難な人には、身だしなみが整えられるよう支援している。					
		〇食事を楽しむことのできる支援						
40	15	食事が楽しみなものになるよう,一人ひとりの好みや力を活かしながら,利用者と職員が一緒に準備や食事,片付けをしている。	月に1回は誕生日会やイベントを開き、 昼食をお楽しみメニューに変更したり しています。おやつには、既製品だけ でなく、手作りのおやつを作るよう配 慮しています。					

白己	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部	評価
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇栄養摂取や水分確保の支援			
41		食べる量や栄養バランス,水分量が 一日を通じて確保できるよう,一人 ひとりの状態や力,習慣に応じた支 援をしている。	食事摂取量、水分量のチェック表を使用し、1日に必要な量が確保、維持できるよう努めている。食事摂取が難しくなった方には、刻みやムース食へと随時変更し対応しています。		
		〇口腔内の清潔保持			
42		口の中の汚れや臭いが生じないよ う,毎食後,一人ひとりの口腔状態 や本人の力に応じた口腔ケアをして いる。	毎食後の口腔ケアを見守り、声掛けを 実施しています。必要に応じ、歯科医 院より歯科衛生師の口腔ケアをお願い しています。		
		〇排泄の自立支援			
43	16	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄記録を活用し、一人ひとりの排泄 パターンを把握するよう努め、トイレ の誘導を心がけています。		
		〇便秘の予防と対応			
44		便秘の原因や及ぼす影響を理解し, 飲食物の工夫や運動への働きかけ 等,個々に応じた予防に取り組んで いる。	排泄状況の確認をし、便秘傾向の方には、薬剤と乳製品の摂取や看護師に相談しながら、便秘予防に努めている。		
		〇入浴を楽しむことができる支援			
45	17	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように,職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに,個々に応じた入浴の支援をしている。	無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。週2~3回の入浴援助を行っています。入浴剤で温泉気分を楽しんでいただいています。		

自己評価	外部	項 目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
		〇安眠や休息の支援			
46		一人ひとりの生活習慣やその時々の 状況に応じて、休息したり、安心し て気持ちよく眠れるよう支援してい る。	日々の体調を把握しながら、一人ひとりの状況に応じて、安心して休息や臥床が出来るよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用,用法や用量について理解 しており,服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。	一人ひとり処方される薬の説明書は、ファイリングし、必要時は確認している。個々にあった服薬援助を行い、病状や副作用の観察を行っています。薬剤師の方と頻回に相談できる環境を整えています。		
		〇役割, 楽しみごとの支援			
48		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	張り合いや喜びを感じたり、気分転換が図れるように、各個人に合った役割を提供できるよう支援している。		
		〇日常的な外出支援			
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	季節に合わせた行事を計画、実施したり、家族の協力を得て、ドライブに出掛けたり、状況を見て戸外へ散歩できるよう努めている。		
		〇お金の所持や使うことの支援			
50		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居者全員、預り金があり、事務所で 管理している。本人の申し出があれば 使用できる。		

自己	从並	項 目(すずらん)	自己評価	外部評価	
評価	評価	上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて 期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人が希望されれば、その都度対応 しています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関,廊下,居間,台 所,食堂,浴室,トイレ等)が,利用 者にとって不快や混乱をまねくような 刺激(音,光,色,広さ,温度など) がないように配慮し,生活感や季節感 を採り入れて,居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている。	共有スペースは過ごしやすいように、 物の配置など工夫している。季節感や 生活感などを取り入れる事で、居心地 良く過ごせるようにしている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中で、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思いに 過ごせるような居場所の工夫をして いる。	共有空間は自由なスペースとして、利 用者の思いのまま過ごしていただいて いる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人 や家族と相談しながら、使い慣れた ものや好みのものを活かして、本人 が居心地よく過ごせるような工夫を している。	居室には、使い慣れた物を持って来られたり、家族写真を飾られたり、穏やかな気持ちになれるような空間になっています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして,安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりの配置や、一人ひとりの居室の 環境の整備等にて、安全・自立に配慮 している。		

			①ほぼ全ての利用者の	
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	0	②利用者の3分の2くらいの	
56			③利用者の3分の1くらいの	
			④ほとんど掴んでいない	
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある	
		0	②数日に1回程度ある	
57			③たまにある	
			④ほとんどない	
			①ほぼ全ての利用者が	
	利用者は,一人ひとりのペースで暮らしている	0	②利用者の3分の2くらいが	
58			③利用者の3分の1くらいが	
			④ほとんどいない	
			①ほぼ全ての利用者が	
	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	0	②利用者の3分の2くらいが	
59			③利用者の3分の1くらいが	
			④ほとんどいない	
			①ほぼ全ての利用者が	
00		0	②利用者の3分の2くらいが	
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている		③利用者の3分の1くらいが	
			④ほとんどいない	
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	0	①ほぼ全ての利用者が	
0.1			②利用者の3分の2くらいが	
61			③利用者の3分の1くらいが	
			④ほとんどいない	
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が	
62		0	②利用者の3分の2くらいが	
02			③利用者の3分の1くらいが	
			④ほとんどいない	
	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている		①ほぼ全ての家族と	
63		0	②家族の3分の2くらいと	
US			③家族の3分の1くらいと	
			④ほとんどできていない	

	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来て いる		①ほぼ毎日のように
64			②数日に1回程度
04			③たまに
			④ほとんどない
	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡が りや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
65			②少しずつ増えている
65			③あまり増えていない
			④全くいない
	職員は,活き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
66			②職員の3分の2くらいが
00		0	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
			①ほぼ全ての利用者が
67	職員から見て,利用者はサービスにおおむね満足していると思う	0	②利用者の3分の2くらいが
07			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思 う		①ほぼ全ての家族等が
68			②家族等の3分の2くらいが
08			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

2 目標達成計画

事業所名 あやめが丘グループホーム 作成日 令和3年5月3日

【目樗達成計画】

	【目標達成計画】					
優先順位	項目	現状における 問題点, 課題	目標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に要する期間	
1	1	基本理念に基づいた考 え方の見直し	基本理念の共有	スタッフ全員個人目標 を立てる	1年間	
2						
3						
4						
5						
6						
7						

- 上
 上

 注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
- 注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。